

ジェンダー・フリー展

今年は、ゆめネットワークもお城まつりに参加します。ジェンダー・フリーを紹介するパネルをはじめ、各グループの活動が分かるパネルも展示しますので、休憩がてらのぞいてみてください。お茶の用意もありますので、お気軽にどうぞ。

- とき 5月17日(土)、18日(日) 9:00~16:00
- ところ 生涯学習センター5階ゆめ
- 問い合わせ先 ゆめネットワーク事務局 市秘書課男女共同参画室 (TEL24-8800)

お城まつり期間中に開催

【明るいまんなの生活展】

- とき 5月16日(金)~18日(日) 9:00~17:00 (最終日は16:00まで)
- ところ 生涯学習センター3階
- テーマ リサイクルで始めよう 小さな実践!
- 問い合わせ先 丸亀市消費者モニター 山本 (TEL25-1715)

【全世界から核兵器をなくすための署名活動】

- とき 5月17日(土)・13:30~15:00 (雨天の場合は、18日(日)の同時間)
- ところ 丸亀城みその橋のもと
- 問い合わせ先 新日本婦人の会丸亀支部 近石 (TEL24-1825)

「平塚らいてうの生涯」を上映して

2月11日、香川県男女共同参画社会づくり推進モデル事業である「平塚らいてうの生涯」上映会が、ユープラザうたづで開催されました。主催は新日本婦人の会丸亀支部でしたが、ゆめネットワークなども後援し、当日は500人を越す入場者数を数えました。

らいてうは、女性だけの手による文芸雑誌『青磁』を発刊し、女性解放運動の草分けとして20世紀を生きた人です。この映画の監督を務めた羽田澄子さんは、「らいてうに直接会っていると思えるように描きたい」と、3年間心血を注いで完成させたそうです。

寄せられた感想文には、「平和のために行動し続けたいらいてうに胸が熱くなった」「男女共同参画社会づくりの参考になった。もっと多くの女性に見てほしい」などがありました。

生涯学習センター5階ゆめに、映画シナリオつきのパンフレットがありますので、ぜひご覧ください。

新日本婦人の会丸亀支部では、ゆめの部屋で絵手紙づくりを楽しんでいます。初心者でも、味のある作品に仕上がっていくのがいいところです。



編集後記

日差しはすっかり春……。ところが、編集後記を書いている私は、流行に大分遅れてかぜをひいています。そんな折、実践の人、信念の人「平塚らいてう」の映画を観ました。そして我が「ゆめネットワーク」、メンバー内より県の審議会委員誕生、市の男女共同参画プラン検討委員会にも参加。ただ今実践中……。 (S)

図書紹介

(生涯学習センター5階ゆめにあります)



「ジェンダー・フリーの読本」

全6巻

■橋本紀子、朴木佳緒留ほか著 2001年発行 大月書店

女とか男とかに関係なく、いろいろな人や家族がいる、いろいろな仕事や生き方がある、いろいろな国や文化がある……。そんなことに、小・中学生に気づいてもらえるようなヒントがたくさん詰まった読本です。大人が読んでも楽しく理解できます。

男女共同参画都市宣言

すべての人は
男女の枠を超え
その人らしく
自立して
生きるために
自らの意思で
あらゆる分野に
参画する機会を持ち
等しく責任を負います

市民一人ひとりの主体的で多様な生き方を尊重し
男女がともに生き生きと暮らせるまちをめざして

ここに丸亀市は
「男女共同参画都市」を宣言します
平成11年11月1日

You ゆめ Me

第6号

ゆめネットワーク
講演会

ジェンダー・フリー教育って何?



12月14日、朴木佳緒留さん(神戸大学発達科学部教授)を講師に迎え、市民会館でゆめネットワーク講演会を開催しました。今回の講演会は教育委員会や男女共同参画モデル校と共催だったため、教育関係者やPTA、地域の人などが参加して下さり、みんなで「ジェンダー・フリーの丸亀教育」を考える豊かな学びの場になりました。

朴木さんは、自立した生き方を導くジェンダー・フリー教育について、「働く」という側面から話してくださいました。以下は、「揺らぐ学校から仕事へ」に取められている朴木さんの論文を参考に、講演内容をまとめたものです。(この本は、生涯学習センター5階ゆめにあります)

社会が子どもに与えるジェンダー・メッセージ

子どもは大人、親をモデルに大きくなります。子どもの目に映る世界が性別役割分担の世界であれば、それが普通だと思います。例えば、家事的なことをいつも母親がやっているのを見た子どもは、それは女性がやるものだと思ってしまうように。

ある小都市の中学2年生が職業体験をする授業で、女子は保育園、幼稚園、ケーキ販売、美容院を選んだ者が多く、男子にはこれらを選んだ生徒は一人もい

なかったそうです。逆に、男子に希望が多かったパティンター、釣具店、大工、ガソリンスタンドなどは、女子は一人も選んでいませんでした。

高校や専門学校、大学の専攻においても、文学、生活、ケアに関するものには女子が多く、工学、理系、社会科学系には男子が多いのです。

このような子どもの選択の偏りは、大人社会やメディアから出される様々なメッセージを受けて現れているといえます。

学校教育の隠れたカリキュラム

学校の教師に占める男女比率を見てみると、子どもの年齢が低いほど女性教師が多く、年齢が上がるにつれて男性教師が増えます。「平成13年度学校基本調査」によると、女性教師の割合は、幼稚園で9割以上、小学校で6.5割、中学校で約4割、高校で2.5割、大学

ジェンダー●社会的、文化的に形成された性別のこと。「男は泣くもんじゃない」「女はおとなしく控えめがよい」などのように、通念を基礎にした男女の区別。

ジェンダー・フリー●気づかぬうちに私たちが縛りつけているジェンダーから自由になること。「男とは/女とはこういうものだ」と決めつけないで、人間として、自分らしく生きるためのキーワードです。